

シンポジウム

ヒトとヒトに係る環境の計測とモデル化技術

～IoTが支える次世代 Healtech & Sportech～

開催概要

近年、健康・福祉・スポーツの分野での I.T.技術活用が提案されています。センサーから個人個人の生体情報や動き情報が取得できるようになり、センシングネットワークを通して環境からの情報取得も可能になりました。これらをもとに従来の画一的なサービスに比べて、個人個人に最適なサービスを提供する可能性が出てきました。本シンポジウムでは、このような社会動向を、今後の技術動向、応用領域と市場動向、最新の研究報告を行うことで考えます。商品(サービス)企画・開発を担当される方、健康・福祉・スポーツ分野に携わる皆様、幅広く I.T.と健康・福祉・スポーツに関心がある方々のご参加を、お待ちしております。



講演内容

12:50 **開会挨拶**
—青山学院大学 副学長・理工学部学部長 橋本 修

13:00 **特別講演 1**
—徳田英幸 “最先端技術動向について”

13:45 **特別講演 2**
—森田俊彦 “市場動向と実用化について”

14:30 **休憩**

14:45 **Next Generation Well-Being 研究発表**
—青山学院大学 熊谷敏、栗原陽介、松本俊之、GUILLAUME LOPEZ、小宮山撰、佐久田博司、戸辺義人、野澤昭雄、薬師神玲子

16:15 **閉会挨拶 ビデオメッセージ**
—青山学院大学 学長 三木 義一

16:25 **特別デモンストレーション&名刺交換会**
(コーヒー・お茶をご用意しております。)



特別講演1 IoTの未来と行動変容の課題

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 理事長
慶應義塾大学環境情報学部 客員教授
徳田英幸

慶応SFCの教授であり、NICT理事長でもある徳田先生より、日本の情報技術研究の第一人者としての立場から、IoT と健康、福祉、スポーツの最先端の技術動向についてお話しいただきます。



特別講演2 デジタルビジネスの動向と事例

株式会社富士通研究所 フェロー
応用研究センター長
森田俊彦

富士通研究所のトップの一人として、最先端技術を駆使した応用製品を世に送り出す仕事に携わってきた森田氏より、医療やスポーツの分野で進むデジタルビジネスの動向と最新の事例をご紹介します。

※ 内容は状況により一部変更される可能性があります。

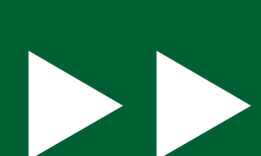
日時／ 2018年3月5日（月）12:50～17:30

場所／ 青山学院大学 青山キャンパス
17号館6F 本多国際会議場

< 定員 550名 | 特別デモ&名刺交換会あり >

参加
無料

参加登録は
こちらから



参加登録URL : <http://well-being.agnes.aoyama.ac.jp/symposium2018/>

上記のURLから申し込めない場合は、下記のメールアドレスより、担当の杉野までご一報ください。

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

相模原キャンパス 相模原事務部研究推進課 担当:杉野

MAIL : sugino@rci-aoyama.jp / HP : <http://well-being.agnes.aoyama.ac.jp/>